

心ひとつに！ 御柱はみんなですくめるのが最高

7年ぶりの笑顔、笑顔



5月3日から5日まで、諏訪大社御柱祭上社里曳きが行われました。

東三地区が担当する前宮四之御柱は、5月4日に御柱屋敷を出発して前宮の建て位置に曳き着けられ、翌5日に冠落し、そして建御柱が無事に行われました。

コロナ禍の影響で一般の曳き子の参加が危ぶまれましたが、大社大総代会の英断で参加ができました。しかし、募集した一般曳き子も沿道の氏子や観光客も少なくちょっと寂しい祭りとなりましたが、東三地区は協力一致のもと難所をものともせず一気に通過し、スローガン「安全に、仲よく、楽しく、美しく」を達成し、『魅せた、東三地区の底力』でフィナーレとなりました。

大総代から御礼のご挨拶

ありがとうございました

本郷地区大総代(ご事)
五味幸太郎

令和4年5月5日、前宮四ノ御柱は建て御柱を無事に終了し、大社の社に奉納することができました。

これも、多くのご支援、ご協力を頂きました。氏子の皆様、各区長様、大中役員の皆様、各係の皆様、各関係団体には心より感謝申し上げます。

今回の御柱は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため山出しは前例にないトレーラーによる曳行

となりました。

コロナ禍にあつて、様々な活動や会議等が延期や中止、また規制があり、戸惑うことが数多くあったと思いますが、そこを皆さんが理解して耐えていただいたことにお礼申し上げます。

里曳きにおいては、感染対策等で参加できなかった人々も思いは一つ、東三地区のスローガンである「安全に、仲よく、楽しく、美しく」を守り、本当に素晴らしい感動を与えてくれました。

今回の御柱は新型コロナウイルスの中で色々なことを考えさせられました。

れましたが、成功に導いてくれたのは皆さんの協力一致のおかげであります。最後に、改めて皆様へ御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



曳行を先導する祭典係と旗持ちのみなさん



オープニングセレモニー
東三地区の里曳きは、宮川の川越しから始まる



難所の一つ、前宮入り口の鳥居を9人乗りのメド(長さ6m 01cm)で一気にくぐりぬける



出発前、阿部知事と名取町長がお越しくできました。

曳行中の子どもたちを特集 将来の東三地区の御柱を託す!!



前宮四之御柱を無事奉納

前宮へ御礼参拝と境内の清掃

里曳きから一夜明けた6日、東三地区の大総代、正副幹事長、御頭郷総代、正副係長、事務局の皆さんにより、前宮四之御柱が無事に奉納できたことの報告と感謝の



御礼参拝が前宮で行われました。引き続き、来た時よりも美しくを合言葉に、出席者全員で東三地区が使用した前宮四之御柱周辺の清掃を行いました。



熱気と興奮から一夜明け、静かに諏訪の平を見つめる前宮四之御柱



建て御柱から一夜明けた6日、御柱の安泰を願う御柱固（根固め）ともいう。神事が行われました。社殿の四隅に建てられた御柱の根元の地面を木づちで打ち叩き、次回御柱祭までの無事を祈っていました。神事は神職と大総代、御柱固めの儀に奉仕する諏訪市中金子の八立神社の氏子の皆さんにより行われ、重さ約30kgの木製の大づちを振るい、参列者の「よいしょ」の掛け声に合わせて地面を打ち固めていました。

次回御柱祭までの無事を願う

本宮と前宮で御柱固神事



写真等留意

東三地区氏子会のウェブサイトやおんばしら通信に掲載している集合写真等にマスクをしていないものがありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に十分な配慮をしながら、撮影時のみ一時的にマスクを外しています。

令和4年御柱祭
東三地区氏子会（本郷・落合・境）
<http://r4h3.www2.jp>



東三地区氏子会のウェブサイト アップされている動画や写真

- ・綱打ちが行われました《地区別》（4/24）
- ・建御柱練習が行われました（4/24）
- ・祭典係による準備が進められています
- ・冠落しの練習が行われました（4/24・5/1）
- ・元綱・追掛の輪なぐり取付けが行われました（4/29）
- ・垂れ幕を届ける担当者選考会が行われました（5/3）
- ・山出しの動画が届きました

など

- ・【速報】里曳き写真館（第1弾・写真と動画）
- ・【速報】建て御柱写真館（第1弾・写真と動画）
- ・【速報】里曳き写真館（第2弾・鳥居くぐり動画）

You Tube「御柱祭 東三地区氏子会」
動画30本配信中（5/7 現在）
【里曳き】御柱祭・前宮四
（2022 本郷・落合・境） →

